

# 令和3年度年間受賞句が決定しました



## 令和3年度須賀川市俳句ポスト

第9号

令和4年3月号

### 年間秀逸句

### 年間特選句

牡丹賞

白もまた燃ゆる色なり白ぼたん

大澤 良州

ぼたん賞

おもいつきり紙ひこうきを夏空へ

五十嵐 心

赤松賞

ひとり来て秋のふかまる牡丹園

安藤スミ子

仁井田小5年

あかまつ賞

校庭に子ども百人暑い夏

須藤 楓真

柏城小5年

翡翠賞

時空超え芭蕉に触れる秋の空

渡辺まり子

かわせみ賞

うんどうかい校ちよう先生とジャンポン

関 晶太

柏城小2年

### 年間入選句

かまきりがりようてをあげてブイサイン

阿武隈小2年

佐藤 心

手のひらに空気のおもみ紙風せん

柏城小4年

佐久間七菜

雪の朝線路みたいな通学路

白方小5年

木船 蒼

春の風だれかとずっとはなしてる

柏城小6年

有馬 百恵

くつひもにくやささのこる運動会

柏城小6年

小林 桃佳

朝早くストーブ係は動きだす

仁井田小6年

根本 悠陽

金色に猫の毛光る初日の出

白江小6年

渡邊 心花

### 年間優秀校

等躬賞

須賀川市立柏城小学校

須賀川市立仁井田小学校

### 選評

#### 牡丹賞

牡丹の事だけを詠んだ一句一章と言われる作り方です。このような作り方だと皆同じような類想、類句になってしまうことが多いのですが、この句はそれを脱しています。「白」のイメージが燃える色と独自の目を持って表現されているからです。白牡丹の持っているものは清楚で儂いという事ばかりではなく、白の中にある真の強さに、この句を読んだ誰もが気づかされることでしょう。静かな一句の佇まいですが、その中に生きる力を感じます。

#### ぼたん賞

健康的でさわやかな気持ちのよい句です。夏空へ鮮やかに飛ばす紙飛行機、見上げている少女の眩しげな表情。たった十七文字の中にたくさんの内容が盛り込まれています。俳句は省略の文学と言われます。いらぬ言葉はできるだけ省いて、それでいて言いたいことを表現する、この句からそのことをあらためて考えさせられました。

第2回入選句は、館内と風流のはじめ館HPに紹介しています。  
<https://s-furyu.jp/>



# 須賀川を訪れた俳人たち 開催中

四季のうつろい・時のうつろい

〔3月31日まで〕



牡丹俳句大会および牡丹焚火俳句大会の講師より寄贈いただいた色紙41点を四季の写真や俳人の言葉などと合わせて紹介しています。

## 春を彩る人形たち



郷土玩具、衣装人形、かんざし、くしなど希少な人形や小物を展示しています。



昭和10年頃



昭和42年



江戸後期



昭和初期

100年を寿ぐ  
シリーズ連句の試み

桔槔ゆかりの人物の作品を発句(五七五最初の句)に対し、その情景から次の脇句(七七)をつけ、長句(五七五)と短句(七七)を複数の人で連ねていきます。  
本シリーズは半歌仙(十八句)を五回にわたり巻いていきます。

\*第一回 二月二十五日

○第一回は、柳沼破籠子(桔槔)創立同人・須賀川牡丹園主の句を発句に七人で巻きました。脇句と第三句のみを紹介します。(歌仙は『および館内にて紹介』第二回は、三月十一日です。

### 「鶯の声」の巻

木蓮の皆曲がりたがる蕾かな 破籠子  
朝の狭庭に鶯の声 栄子  
春夕焼けオープンカフェは静かにして よし子

### 「西の春雲」の巻

木蓮の皆曲がりたがる蕾かな 破籠子  
だんだらだんと西の春雲 はるか  
ごほうびの乗込鮒を手土産に 道子



## すかがわ大人塾

第三回 はじめての茶道



茶道表千家  
基礎的な茶道の礼儀と作法、相手や物を大切に想うこと、敬うことを教わりました。



## こども和文化塾

第三回 おいしいお茶のいただき方教室



煎茶道方円流  
日本茶の歴史や茶葉の種類、作法、道具など、お茶のいろはを楽しく学びました。

## お茶アレコレ

お茶の種類  
抹茶・玉露・煎茶・番茶・玄米茶  
ほうじ茶・茎茶・芽茶・粉茶

お茶の歴史  
はじまりは中国。日本のお茶文化は平安時代ベトナムから入り緑茶は一九九〇年に登場



## 3月 言の葉

### 春秋

しゅんしゅう  
明るく浮き絶つ春だというのに、ふつとももの憂い気分になること。別れと出会いのはざまの季節だからでしょうか。

### 長閑

のどか  
青空が広がり、穏やかで、うらかなさまという意味。春の季語。

## 菜虫蝶と化す

なむしちようか  
三月十五日から十九日ごろ冬を過ごした虫が、さなぎから蝶になるころです。春になって初めて出会う蝶のことを初蝶といいます。



## 俳句募集

募集期間 通年  
募集方法 投句用紙または葉書  
選句会 年2回(8月 2月)  
部門 一般の部・子どもの部  
学校の部

館内のしつらえが春の彩りになりました。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。